



境 瑞貴
Freedom Through
Konowledge ~旅の途
中~

撮影テーマ

今日も子どもたちはあの土地で生きて
いる

最近のエントリー

- ▶ ああ、青春の日々よ
(2013.08.21)
- ▶ 五ヶ月
(2013.08.18)
- ▶ 肯定の哲学
(2013.08.16)

アーカイブ

- ▶ 2014年01月
- ▶ 2013年12月
- ▶ 2013年11月
- ▶ 2013年10月
- ▶ 2013年09月
- ▶ 2013年08月
- ▶ 2013年07月
- ▶ 2013年06月
- ▶ 2013年05月
- ▶ 2013年04月
- ▶ 2013年03月

投稿カレンダー

カテゴリー一覧

- ▶ インド/India
- ▶ カンボジア/Cambodia
- ▶ シンガポール/Singapore
- ▶ タイ/Thailand
- ▶ ネパール/Nepal
- ▶ ベトナム/Vietnam
- ▶ マレーシア/Malaysia
- ▶ 中国/China
- ▶ 出発前
- ▶ 台湾/Taiwan
- ▶ 帰国後
- ▶ 韓国/Korea

ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



海外フォトフィールドワーク WeBlog

Blog

Just The Way You Are

ああ、青春の日々よ

[Tweet](#)

[Check](#)

FWがはじまってから、
自分のこれからの人生について具体的に考えることが増えました。

今までこの旅で出逢ってきた多くの人は、
足下をしっかり和固めた上で自分の人生を生きていました。

"人生は選択の連続"です。

そろそろ覚悟を決めて、
自分の進む道に焦点あてる時期に来ているのだと自分でも自覚しています。

今までは...
もっともっと世界が見たい、知らない環境に踏み込みたい、多くの人と出逢いたいetc...と10代の頃から世界中を飛び回
ってきました。

もちろん今でも、
もっとたくさんの価値観に出逢ったり、行ったことのない国や地域を訪れたいという気持ちは大きいですが...それと同
時に責任を持ってどっしりと時間をかけて一つのことに向き合いたいとも自然に考えるようになりました。

旅のおかげで次の一歩を踏み出す決心がつかしました。
自分にとっては半年間というのは完璧すぎる期間だったのではないかと思いはじめています。

つ、つ、つ、ついに、、、
モモモモモモモ、モラトリアムからの脱却...

第二回目のスクーリングもとても内容の深いものになりました。



明日からフリー期間の三連発が始まります。
言うまでもありませんが、今までの積み重ねがある上で改めて写真と自分と向き合える大切な時期です。

ここまできたら精神論でも何でもいから、やりきる。

撮影取材に集中する！

姿に状況を伝えようとしすぎて説明的な写真になりすぎないように、写真の中に自分の感性を交えて噛み砕いていく。

真摯に向き合い関わっていけばおのずと子どもたちの生きている環境は見えてくるはずだから。

ストレートで自然な強い写真。

それでいて、見てくれる人の想像力を刺激するような写真が撮りたい。

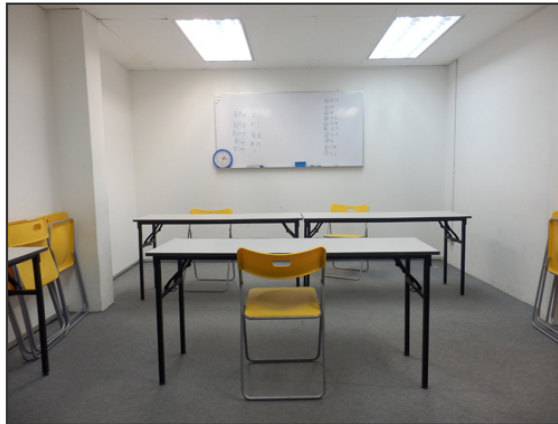
"好奇心を生み出す努力"

"できない自分を肯定しない"

決して逃げずに...

限界の底上げをしていく。

ふう、
何だかセンチメンタルな夜です。



明日の昼を過ぎればこの施設ともお別れ。

三度目の滞在ということもあり近くのコンビニや飲食店の店員さんたちとも顔見知りになり、今日はお別れの挨拶をしながら一期一会を感じて胸が締め付けられました。

長い間共同生活をしたこの施設。

クラスメートの笑い声や、作業中の彼らの真剣な眼差し、一緒に食べたおいしいご飯、三人で過ごした女子部屋、屋上、嬉しそうなお客さんの笑顔、二段ベット、眠たそうな横顔...

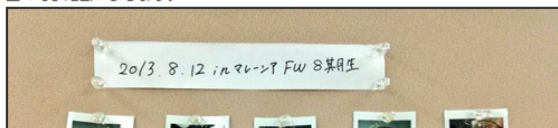
ここで過ごした日々は確かに存在していた。

前へ進む時。

進みながら気付いていくのです。

お前ら、愛してるよ♡

上海でまた会いましょう。





カテゴリ: [マレーシア/Malaysia](#)
post by 境 瑞貴 | 日時: 2013.08.21 | [パーマリンク](#) | [トラックバック \(0\)](#)

🇲🇾 五ヶ月

[Tweet](#)

[Check](#)

四ツ橋筋 四ツ橋筋 四ツ橋筋
あなたは3回噛まずに言えますでしょうか？

よつばすす
よつばじすじ
よつばsdkjh…

そのあなたも言えなかったに違いない。
この単語を新しく早口言葉の中に入れることを推薦したいと思います。

さてさて、時は五ヶ月前に遡って…
大阪到着後にバンクーバー留学時代の大阪出身の友人Yuki-Kunのエスコートのもと大阪観光をした時のお話と共に、人との出逢いについて徒然なるままに。

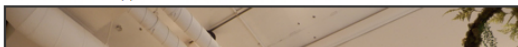


久しぶりの再会なんだけど、
何だか久しぶり感がしない！！！！

とりあえず…
難波から心斎橋まで散策です。



名前は忘れましたがw
途中で美味しいと評判のドーナツ屋さんへ寄り道。





その後は、
大阪と言えばアメリカ村と三角公園とHORIEでしょう！という安易な考えで散策再開。



このブログに何度も登場しているので、
気付いている方もいるかもしれませんが…
わたくしは異常なまでにBubble Teaを愛しております。

このBubble Teaは今まで日本で飲んだので一番美味しい！！！！



日本のBubble Tea業界を変えようと真剣に考えている自分にとっては感動ものでした。

リバープレイス



お昼はYuki-kunおすすめのお好み焼き屋さんへ！
関ジャニも取材で来たことがあるとかで並んでいる間にテンション急上昇の境さん。





おいしい!

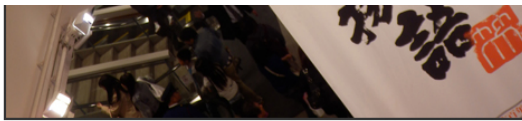


ぶらぶら



これまた定番の
なんばグランド花月!





当時のスーツケースはご臨終しましたが...
この時買った吉本芸人さんのシールはスーツケースに貼ってました♡

喫茶 去でしばしの休憩。
本当に食べてばかりです...



朝早くから付き合ってくれてありがと♡

難波から梅田まで1時間かけて
ゆっくりとお散歩をしながら夕食の予約をしていたお店へ。



ここから仕事帰りのYuka-Chanも合流。
彼女も同じ時期にバンクーバーに留学していて出逢いました。



留学時代に戻ったような感覚で...
盛り上がりすぎてお上品なお店の中で騒いでしまったかもしれません。

神戸についたその日に...
関西でわちゃわちゃ旧友らと合流♡

梅田の綺麗な夜景を見ながらおいしいご飯を食べてParty Nightしちゃうのです(*´ω`*)

これもあれもどれもこれも不思議な縁。

そして、今はそれぞれの土地で頑張っている。

1との出逢い

ハシの出産
自分一人では何もできないし、相手がいてくれるからこそその成長があるのだと改めて感じました。

だけど、そのための一歩を踏み出すのはいつだって自分。

東京から大阪に向かう日の夜にも夕食の席でも、友人の紹介で新しい出逢いがありました。

こういう出逢いが大好きです！



彼はネパールとインドに春休みに行っていたので
ほやほやの現地の情報や生活の術を伝授してもらいました。

縁って素敵。
自分を何倍にも輝かせてくれる。
どんどん輪が広がっていき刺激や学びの連鎖が生まれる。

巡り合わせと出逢いに感謝。
残りのFW期間にどんな出逢いがあるのか楽しみです。

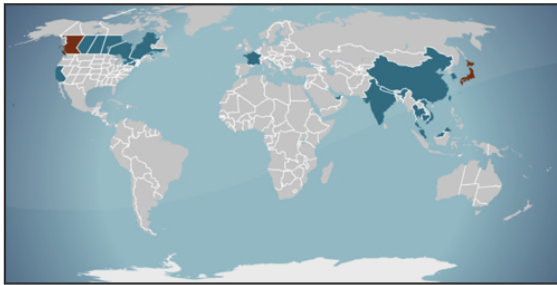
カテゴリ: [出発前](#)
post by 境 瑞貴 | 日時: 2013.08.18 | [パーマリンク](#) | [トラックバック \(0\)](#)

📺 肯定の哲学

[Tweet](#)

[Check](#)

10カ国アジア一周の撮影取材を終えて...
今回で三度目の滞在になるマレーシアに帰ってきました。



9/16神戸着！
この旅も...今日でちょうど残り後一ヶ月となったのです。

現在は学校施設にて第二回目のスクーリングを行っています。





ここで自分のテーマをトータルで見返し、
写真として何が撮れていて何が撮れていないのかを改めて少しだけ整理しようと思います。

私は撮影テーマとして、以下の考えを掲げてFWを進めてきました。

『世界には国や地域に関係なく、生まれながらにして環境や歴史等の影響で貧困・暴力・病気・障害・ネグレスト・迫害・戦争という現実の中で懸命に生きている子どもたちがあります。今回のFWでは、そんな未来への可能性になりうる子どもたちに寄り添いながら撮影取材をしていきます』

私は“国とは人”で“子どもたちは私たちの世界の未来”だと思っています。自分は人生をかけて、一人でも多くの人が人間らしく夢や希望を語れることができ、その実現のために努力できる必要最低限の環境を整備するために生きていきたいと思っています。

だからこそ、
まずはこの旅を通して、まずは世界に触れたいし知りたいし体験したいと思っています。
そして、世界中に広がっている現状を自分の中で“想像”から“現実”へ変え、この先の生き方や行動についての明確なビジョンについて見つめ直す機会にしたいです。

自分ができることを一步一步確実に進んでいくためにも、この旅を通じてより強く揺るぎない信念と、長いスパンで未来を見据えて動き続けるための覚悟を確立していくための“始まりの旅”にしたいです。

確かに、過去は変えることはできないし絶対的な悪や正解というのは存在しないのかもしれませんが。

けれど、自分の作品を見たことをきっかけにして、少しでも多くの人が社会問題や世界の未来について考える時間をとってくれたら嬉しいと思います。

撮影取材をするきっかけとして孤児院で暮らす子どもたちやストリートチルドレンという被写体選びの入口がありました。

しかし、これはある種の切り口としての表のテーマにすぎなかったことに現場に行って撮影取材を続けていく上で気付きました。

そんな中で自分の中に残ったものは、

『ああ、ここにこの子たちは存在し生きているんだ』

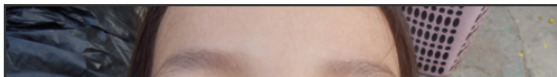
...というシンプルなものでした。

この感覚にたどり着いた時に身体を走った衝撃はとても心地の良いもので自然と涙があふれてきました。

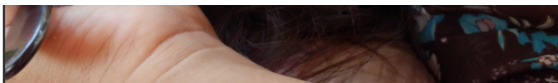
知識として事実を知るだけではだめで、肌で感じるという体験をしました。
いくら本を読んだり人から話を聞いたとしてもこればかりは分かるものではない。

出発前の自分は頭でばかり物事を考えてしまっていたのです。

そこで子どもたちは生きているのです。









レッテルや社会的地位なんて関係ない。
回数を重ねていくことで形作られていく実感。
本当の意味で関わってみて初めて芽生えてくる感情。

もちろん、社会的には厳しい状況の元で暮らしている子ども多いかもしれません。
けれど...その表面だけを見ているだけでは見えてこないその向こう側にいる子どもたちと出逢うことができたのです。

"ある属性の中にいる誰か"ではない"一人の人間"が存在しています。

『自分の作品を見たことをきっかけにして、少しでも多くの人が社会問題や世界の未来について考える時間をとってくれたら嬉しく思う』なんて語ってしまっていた自分が恥ずかしくもあります。

今の自分にできることは何もないかもしれないけれど、その存在を感じることはできる。

難しいことを考えるのではなく...
目の前にいる子どもたちの生きている姿を伝えたい、それだけでいいのではないかと？

写真の中に人を存在させる。
一瞬一瞬の空気感や表情と視線を大切に。

生きることの存在感...

今まで出逢ってきた子どもたちに限らずとも自分と関わる全ての人も一緒です。

このことを知ることができたことで、
これから先もっと強く進んでいける気がします。

まだ上手くまとまっていますが、、
スクリーニング期間のうちにより理解を深めて最後のフリー期間に望みたいと思います。

泣いても笑っても残り一ヶ月。
悔いを残さずに楽しんでいこうか。

カテゴリ: [マレーシア/Malaysia](#)
post by [境 瑞貴](#) | 日時: 2013.08.16 | [パーマリンク](#) | [トラックバック \(0\)](#)

十カ国目

[Tweet](#)

[Check](#)

您好，我是來自日本的境瑞貴。

我是日本写真专门学校的一名学生。

我现在正在环游东南亚并拍照，其间一直有拜访各个国家的儿童福利机构。

中国最終夜。





"你"救过我，我要报恩。



好的...
就这样，再见。



謝謝你。

カテゴリ: [中国/China](#)
post by 境 瑞貴 | 日時: 2013.08.09 | [パーマリンク](#) | [トラックバック \(0\)](#)

▲ [Pagetop](#)